



TVチューナーカード

PCI 対応
TV チューナーカード

ユーザーマニュアル
ハードウェア & ビデオドライバ

ユーザーへのご注意

購入者がバックアップの目的で利用する場合を除き、本書中に示されるハードウェア・ソフトウェアを含む、本マニュアルのいかなる部分も、ASUSTeK COMPUTER INC. (ASUS)の文書による明示的な許諾なく、再構成したり、転載・引用・放送・複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、明示および暗示を問わず、いかなる保証もなく現状のものとして本書を提供します。ただし、市場の状況や特定の目的のための変更を除きます。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品から生じるいかなる間接的、直接的、偶発的、二次的な損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負うことはありません。

以下の場合、製品の保証やサービスを受けることができません：(1)ASUSが明記していない方法で、修理、改造、交換した場合。(2)製品のシリアル番号が傷つけられていたり、失われていた場合。

本書中の製品名や企業名は登録商標や著作物の場合があります。本書では、識別、説明、およびユーザーの便宜をはかる目的にのみ使用しており、権利を侵害する目的はありません。

- ・ Windows, MS-DOS, および DirectX は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・ Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

製品名とリビジョン番号は、製品自身に印刷されています。マニュアルのリビジョンは、各製品ごとに発番されており、マニュアルリビジョンのピリオドの前後の桁が製品リビジョンを表しています。同じ製品リビジョンでのマニュアル自身のリビジョンは、マニュアルリビジョンの3桁目で表されています。

マニュアル、BIOS、ドライバの更新情報、製品リリース情報は、<http://www.asus.com.tw> または、次ページの情報を参照してください。

本書の仕様と情報は、個人の使用目的のためにのみ供給されます。予告なしに内容が変更されることがあります。しかし、この変更はASUSの義務ではありません。本書およびハードウェア、ソフトウェアの間違い・不正確さについて、ASUSは対応義務も責任もありません。

Copyright(c) 2002 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

製品名:	ASUS TV チューナーカード
マニュアルリビジョン:	1.01 J1102
発行日:	2002年8月

ASUS サポート情報

ASUSTeK COMPUTER INC. (アジア・太平洋)

住所: 150 Li-Te Road, Peitou, Taipei, Taiwan 112
電話(代表): +886-2-2894-3447
Fax(代表): +886-2-2894-3449
Email(代表): info@asus.com.tw

テクニカルサポート

MB/その他 (電話): +886-2-2890-7121 (英語)
ノートPC (電話): +886-2-2890-7122 (英語)
デスクトップ/サーバー(電話): +886-2-2890-7123 (英語)
サポートFax: +886-2-2890-7698
サポートEmail: tsd@asus.com.tw
Webサイト: www.asus.com.tw
ニュースグループ: cscnews.asus.com.tw

ASUS COMPUTER INTERNATIONAL (アメリカ)

住所: 6737 Mowry Avenue, Mowry Business Center,
Building 2, Newark, CA 94560, USA
Fax(代表): +1-510-608-4555
Email(代表): tmd1@asus.com

テクニカルサポート

サポートFax: +1-510-608-4555
総合サポート: +1-502-995-0883
Webサイト: www.asus.com
サポートEmail: tsd@asus.com

ASUS COMPUTER GmbH (ヨーロッパ)

住所: Harkortstr. 25, 40880 Ratingen, BRD, Germany
Fax(代表): +49-2102-442066
Email(代表): sales@asuscom.de (マーケティングのみ)

テクニカルサポート

サポートホットライン: MB/その他: +49-2102-9599-0
ノートPC (電話): +49-2102-9599-10
サポートFax: +49-2102-9599-11
サポート(Email): www.asuscom.de/de/support (オンラインサポート)
Webサイト: www.asuscom.de

目次

1. はじめに	7
ハイライト	7
製品ラインアップ	7
クイックセットアップガイド	8
2. ハードウェア セットアップ	9
必要なハードウェアとOSの条件	9
ASUS TV チューナーカード レイアウト	10
カードの取り付け方法	11
オーディオケーブルの接続	12
コネクタの名称と機能	12
TVチューナーカードの使い方	13
CATV/TVアンテナの接続	15
リモコンの使い方	17
電池の取り付け	17
ASUS リモコン レイアウト	18
ASUS リモコン コントロール機能	20
3. ソフトウェア セットアップ	23
デバイスドライバのインストール	23
Windows 98/ME	23
方法1: ASUSクイックセットアップ	23
方法2: プラグアンドプレイ	24
Windows 2000/XP	26
方法1: ASUSクイックセットアップ	26
方法2: プラグアンドプレイ	27
ASUS リモコンドライバのインストール	29
方法: ASUSクイックセットアップ	29
DirectX のインストール	31
TV チューナーカードドライバのアンインストール	32
Windows 98 / ME	32
方法: コントロールパネルを使う方法	32
Windows 2000 / XP	33
方法: コントロールパネルを使う方法	33
VideoSecurity のインストール	34
PowerVCR II のインストール	35
PowerDirector Pro のインストール	36
Medi@Show のインストール	37
ASUSDVD XP のインストール	38
4. ソフトウェア リファレンス	39
ASUS Remote Master	39
PowerVCR II	41

目次

表示オプション	43
録画	43
インスタントTVリプレイ	46
CyberEPGプログラミング	47
PowerDirector 2.0	48
Medi@Show	50
ASUS VideoSecurity	52
5. 解像度一覧表	57
6. トラブルシューティング	59

FCC & DOC COMPLIANCE

Federal Communications Commission Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING! The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Macrovision Corporation Product Notice

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only *unless otherwise authorized by Macrovision Corporation*. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

1. はじめに

「ASUS TV チューナーカード」をお買い上げありがとうございます。本製品は、世界ではじめて「Microsoft^(R) WHQL認可」を得たTV チューナーカードです。パソコン上でTVを見ることがだけでなく、タイマー録画、TVおよびビデオデッキからのキャプチャ、動画の作成ができます。「ASUS TV チューナーカード」は、最新のビデオ/オーディオデコーダーを装備し、高性能・高画質なマルチメディア環境を実現します。また、便利なりモコンや豊富なユーティリティソフトウェアを標準で添付していますので、お買い上げ頂いたその日から、あなたのパソコンをマルチメディアセンターに変身させます。

ハイライト

- ・ 最新のビデオ/オーディオデコーダー - Conexant CX23880 を採用、高画質、10ビットビデオADCを実現
- ・ Philips NTSC TV チューナー内蔵
- ・ お使いのパソコンに簡単に追加セットアップ可能
- ・ ビデオキャプチャ機能-TimeShift(時間差録画)、タイマー録画、静止画キャプチャ、MPEG I, II 圧縮対応
- ・ ステレオ および SAPモード対応
- ・ 多機能リモコン標準添付
- ・ 外部ビデオ入力端子
- ・ ビデオ編集、ムービー作成、オーサリングソフトウェア標準添付
- ・ ビデオセキュリティ/監視システムを構築可能
- ・ Windows98/ME/2000/XP対応WDMビデオキャプチャドライバ
- ・ Microsoft^(R) DirectShowTM 準拠
- ・ Microsoft^(R) WHQL 認可取得ドライバ
- ・ PCI revision 2.2 準拠
- ・ インターネット対応ビデオカンファレンス

1. はじめに

クイックスタートアップガイド

以下は「ASUS TV チューナーカード」のセットアップ概要です。お使いのコンピュータの電源を切ってから作業を始めてください。

- 1 パッケージ内容の確認
お使いになる前にパッケージ内容を確認してください。
ASUS TV チューナーカード本体
ケーブル
 (1) ビデオ入力ケーブル(外部ビデオ機器との接続用)
 (2) オーディオケーブル(サウンドカードとの接続用)
ソフトウェア
 (1) ASUSドライバ インストールCD
 (2) ASUSビデオセキュリティ ユーティリティ
 (3) ASUS DVD XP ユーティリティ
 (4) CyberLink^(R)PowerVCR II (ボーナスソフトウェア)
 (5) CyberLink^(R)PowerDirector (ボーナスソフトウェア)
 (6) CyberLink^(R)Medi@Show (ボーナスソフトウェア)
リモコン(電池付き)
ユーザーマニュアル(本書)
- 2 ケーブルと付属品の接続
 - ・ ケーブルTV または 家庭用TVアンテナと接続する場合 → P.13
 - ・ その他の機器と接続する場合 → P.15
- 3 リモコンの準備
 - ・ リモコンに電池をセットします → P.17.
- 4 コンピュータの起動
- 5 デバイスドライバのインストール
 - ・ 必要なドライバとソフトウェアをインストールします → P.23.
- 6 DirectX.のインストール
 - ・ DirectX をインストールします→ P.31.
- 7 ユーティリティソフトウェアのインストール
 - ・ 添付ソフトウェアをインストールします→ P.34.
- 8 ソフトウェアの使い方
 - ・ 添付ソフトウェアの使い方→ P.39.

2. ハードウェア セットアップ

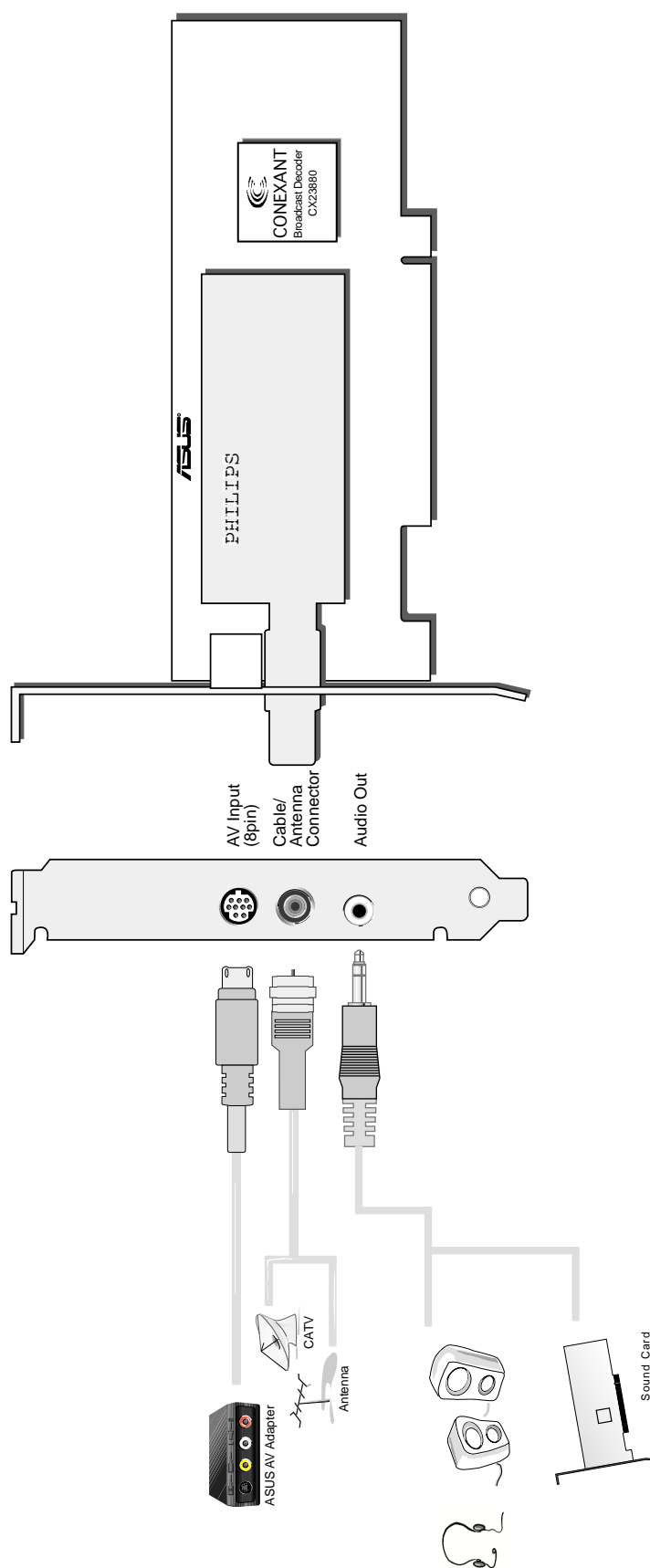
必要なハードウェアとOSの条件

- ・ Intel^(R) または AMD^(R) チップセット採用のマザーボード
- ・ 1つの PCI 空きスロット
- ・ メインメモリ64 MB以上
- ・ ビデオメモリ16MB以上のグラフィックスカード
- ・ CD-ROM ドライブ (ドライバのインストール時に必要)
- ・ サウンドカード
- ・ Microsoft Windows 9X^(R)/ME^(R)/2000^(R)/XP^(R)
- ・ DirectX^(R) 8 以上

注意

- ・ TVチューナーカードを取り付け/取り外しする場合は、コンピュータの電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。
- ・ ビデオカンファレンスには、別途、ビデオカメラまたはビデオレコーダーが必要です。



ASUS TV チューナーカード レイアウト



パッケージリスト

- ☒ ASUS TV チューナーカード (NTSC)
- ☒ ユーザーマニュアル
- ☒ ASUS ドライブ/ユーティリティ CD

注意

- ・ お使いのTV規格に対応したモデルを選択してください。
- ・  と  は同時に使用できません。
- ・ 上図と実際の製品の外観は異なる場合があります。

2. ハードウェア セットアップ

注意: TVチューナーカードは、PCIスロットを持つマザーボード用です。

警告! コンピュータや拡張カードには精細な ICチップが用いられています。静電気によるダメージを防ぐために、作業上、以下を守ってください。

1. グラフィックスカードや拡張カードを取り付け/取り外しする場合は、電源コンセントからプラグを抜いてください。マザーボードや拡張カードの破損の原因となる恐れがあります。
2. カード類は使用する直前まで、帯電防止袋から取り出さないでください。
3. アースされたリストストラップを用いてください。それがなければ、電源シャーシなど、金属部分に触れて作業者の静電気を逃がしてください。カード類を持つ時は、基板の端を持ち、基板や IC、コネクタ部分に触れないようにしてください。
4. 取り外したカード類はアースされたパッドの上に置いてください。例えば、カードが入っていた袋を使用してください。

カードの取り付け方法

新規システムの場合

1. コンピュータの電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。
2. ケースのカバーを外します。
3. PCI スロットの位置を確認します。カードの取り付けに干渉するものがないかどうか確認します。
4. ケースの拡張スロットのブラケットを取り外します。
5. 金属シャーシなどに触れて作業者の静電気を除去します。
6. 袋に入れたままカードを片手で取り上げ、カードの金属ブラケットを持ち、袋から出します。
7. カードをPCI スロットの向きに合わせ、最初にコネクタの片方をスロットに挿し込みます。次に、ゆっくりと力を入れてカードのコネクタ全体をスロットに押し込みます。コネクタの金属端子がスロットに完全に隠れたことを確認します。
8. カードのブラケットを4項で取り外したネジでケースに固定します。
9. ケースのカバーを取り付けます。
10. 周辺機器と電源コードを接続します。

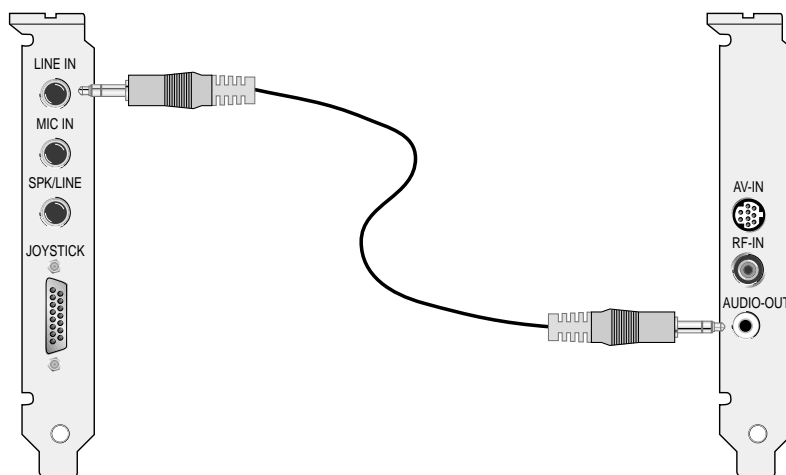
2. ハードウェア セットアップ

オーディオケーブルの接続

TVの音声は、TVチューナーカードの音声出力ジャックから出力されます。この音声出力をお使いのサウンドカードに接続することにより、PCにTVの音声を取り込むことができます。

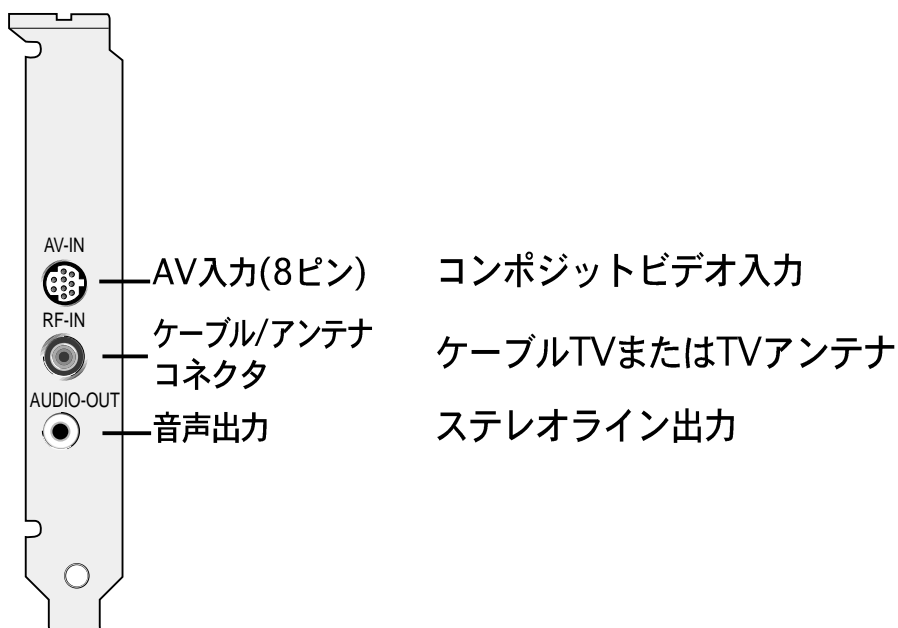
サウンドカードとの接続(外部配線)

1. ASUS TV チューナーカードのブラケットに音声出力ジャックがあります。
2. お使いのサウンドカードのライン入力ジャックを確認してください。(詳しくはサウンドカードまたはコンピュータの説明書を参照してください。)
3. 付属のオーディオケーブルを用いて、上記2つのジャックを接続します。



コネクタの名称と機能

ASUS TV チューナーカードには、以下の3つのコネクタ(ジャック)があります。



2. ハードウェア セットアップ

TV チューナーカードの使い方

TVチューナーカードのセットアップ方法は以下の3つのステップからなります。

- ステップ 1 CATVまたはTVアンテナの準備
- ステップ 2 CATVまたはTVアンテナの接続
- ステップ 3 その他の周辺機器の接続

CATV/TVアンテナの接続

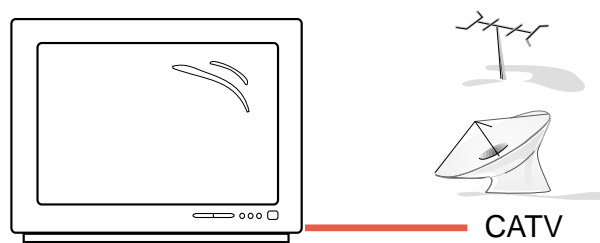
お使いのCATVまたはTVアンテナによって接続方法は異なります。

注意：アダプタ、スプリッタ、A/Bスイッチ、分配器などについてはお近くの専門業者にお問い合わせください。

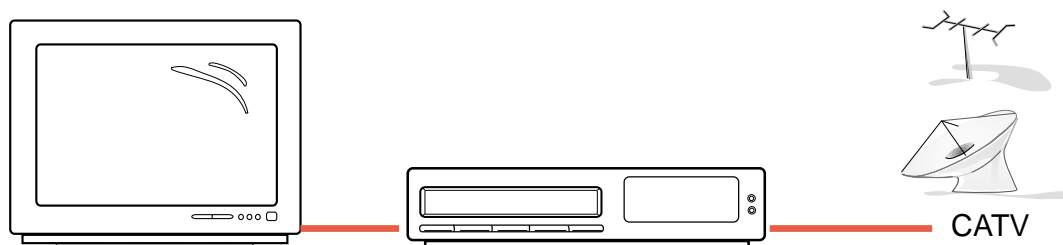
TVチューナーカードは100chの受信が可能です。CATVをお使いでない場合は、屋内または屋外アンテナと接続します。TVチューナーカードは、VHF(2～13ch) および UHF (14～69ch) の受信が可能です。

CATV または TVアンテナの配線を確認してください。テレビに直接接続されているか、ビデオデッキを通してテレビに接続されている場合があります。

テレビに接続されている場合



ビデオデッキに接続されている場合

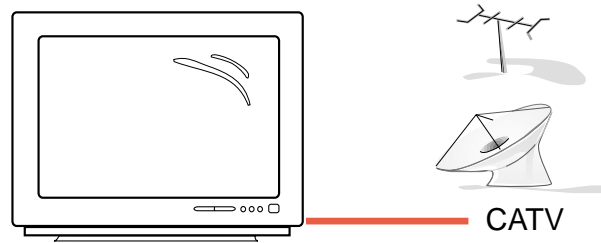


次ページの手順に従って、アンテナからのケーブルをTVチューナーカードに接続します。

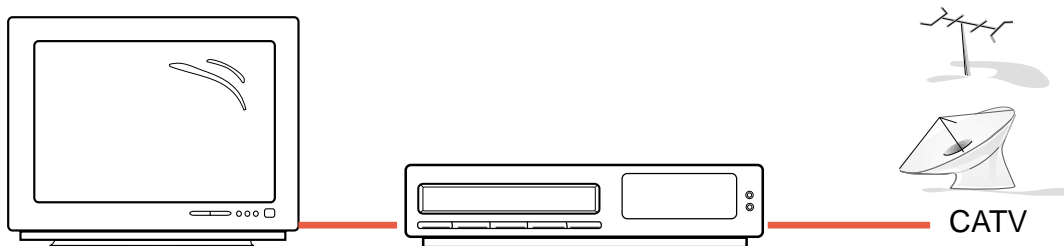
2. ハードウェア セットアップ

ステップ 1

CATV または TVアンテナのケーブルを取り外します。



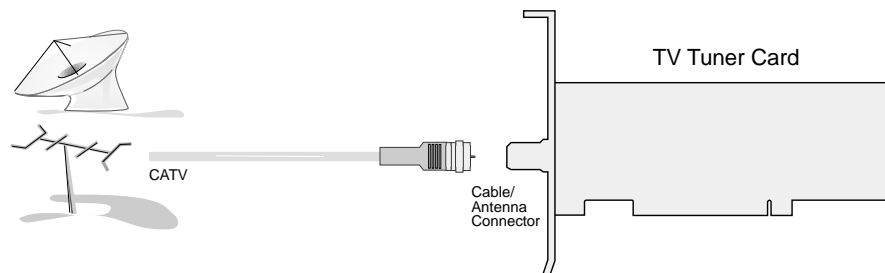
テレビの場合



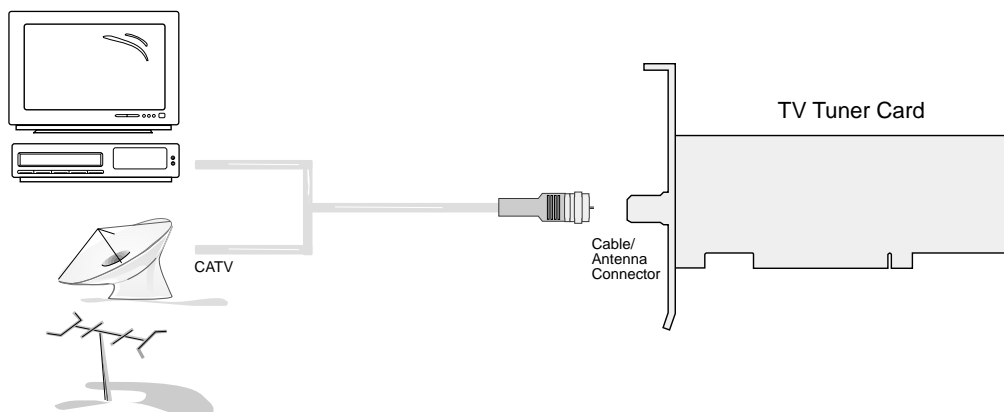
ビデオデッキの場合

ステップ 2

アンテナからのケーブルをTVチューナーカードに接続します。



直接接続する場合

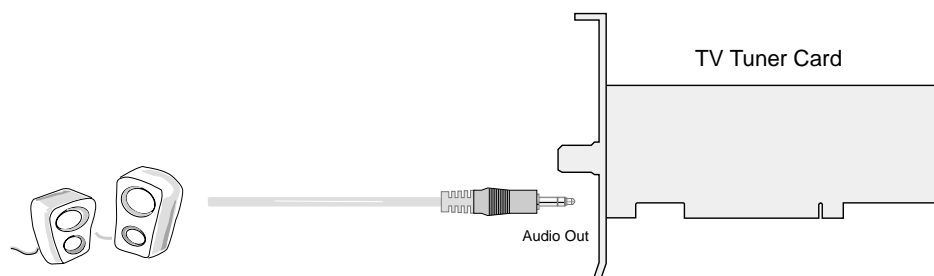


アダプタ、スプリッタ、A/Bスイッチ、分配器を通して接続する場合

2. ハードウェア セットアップ

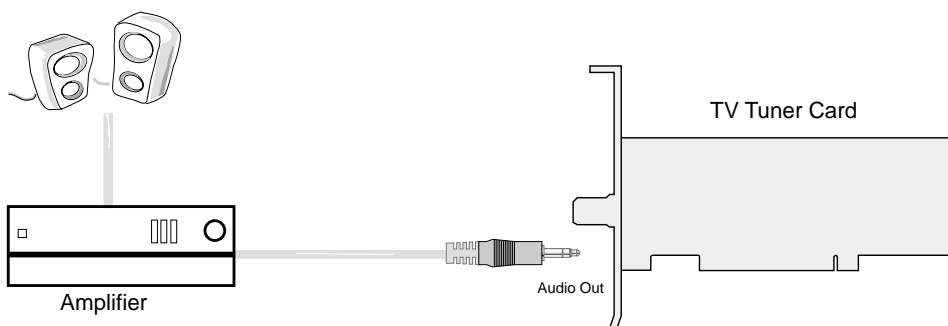
ステップ 3

TVチューナーカードにオーディオ機器を接続します。



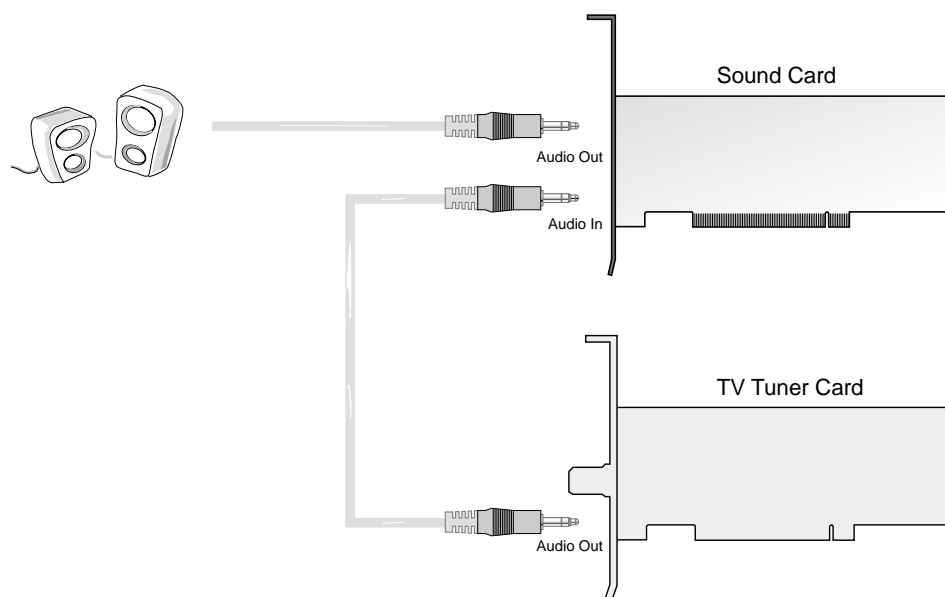
アンプ付きスピーカに接続する場合

注: TVチューナーカードの音声出力はラインアウト出力と同等です。音声を聞くにはアンプが必要です。

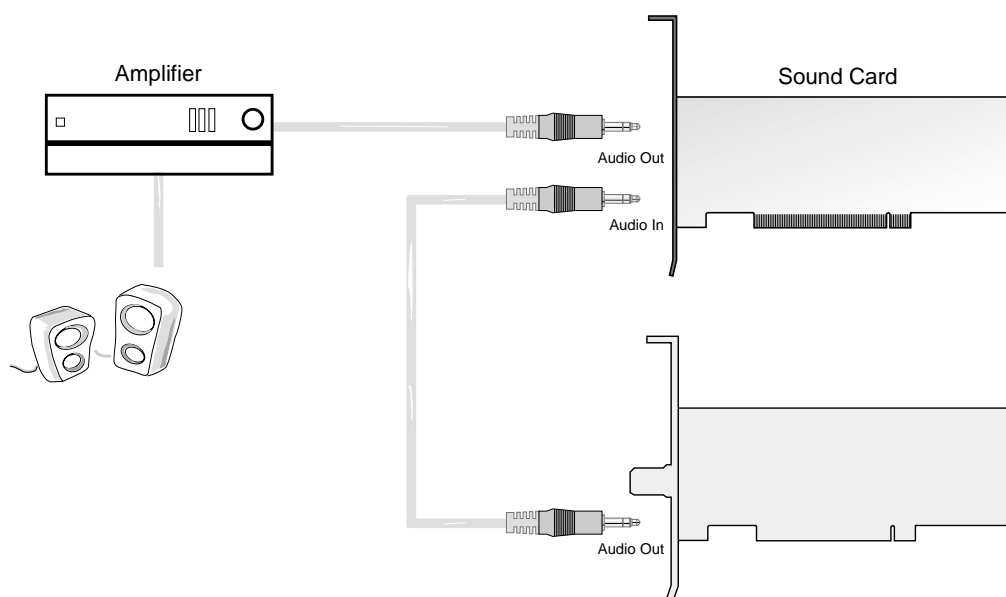


ステレオアンプと接続する場合

2. ハードウェア セットアップ



PCのサウンドカードに接続する場合



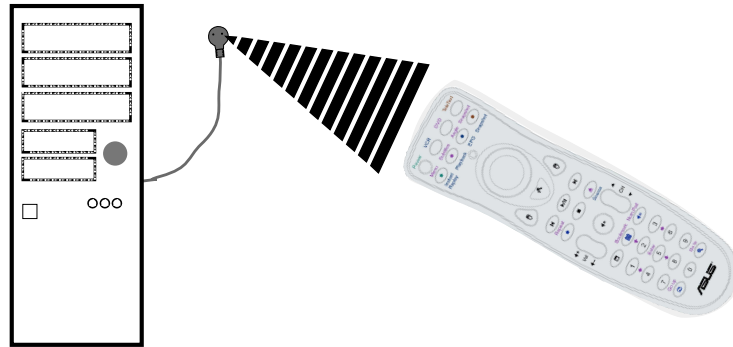
サウンドカードを経由してステレオアンプに接続する場合

これで、TVチューナーカードの準備ができました。

2. ハードウェア セットアップ

リモコンの使い方

本製品には、TVチューナーカードを離れた位置から操作できる便利なリモコンが付属しています。TVのチャンネル切り替えやボリューム調整が離れた位置から簡単にできます。リモコンの正面を受信機に向けて操作するようにしてください。



リモコン受信機はお好きな位置に設置できます。障害物のないひらけた場所に設置してください。

電池の取り付け

リモコンには電池が必要です。アルカリ電池をお使いになることを推奨します。リモコンの裏蓋を開けて電池をセットしてください。

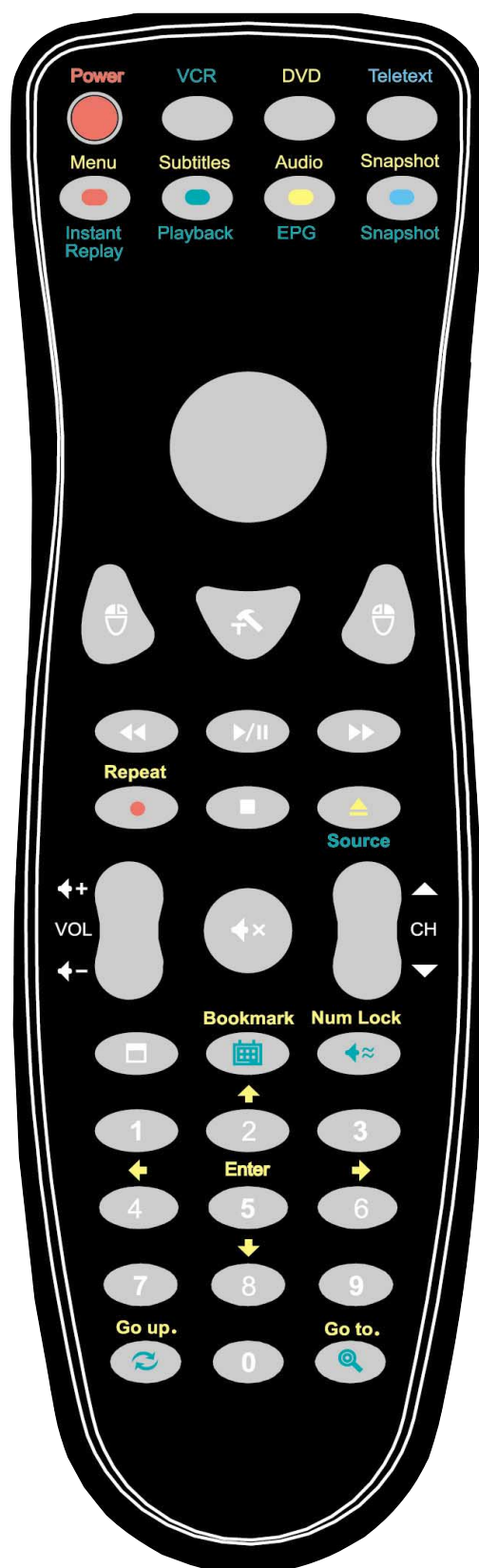
リモコンが動作しなくなった場合は電池が消耗している可能性があります。使用できる電池は、単四 (AAA UM-4) 1.5V 電池 2 本です。お近くの電器店などでお買い求めください。

リモコン受信機の取り付け

リモコン受信機とコンピュータはUSBケーブルで接続します。ケーブルをコンピュータのUSB端子に接続し、受信機を任意の位置に設置します。

2. ハードウェアセットアップ

ASUS リモコン



ASUS リモコン レイアウト

2. ハードウェア セットアップ

特徴:

1. ASUSDVD XP/PowerVCR II/EPG などのソフトウェアを離れた位置からコントロール可能。
2. マウスモードにより、ワイヤレスマウスのように離れた位置からPCの操作が可能
3. 受信機は USB接続方式で簡単にセットアップ可能
4. 4つのソフトウェア(DVD button -ASUSDVD VCR button-PowerVCR II, EPG Button-Titan.com / TVTV.com)に標準で対応済み。ユーザーによるカスタマイズも可能。
5. ホットキーによる一発起動機能。

仕様:

- ・ 動作電圧 : 3V ; 単四電池 x 2 (アルカリ電池を推奨)
- ・ 受信機インターフェイス : USB

2. ハードウェア セットアップ

コントロール機能

ボタン	モード 1	モード 2	モード 3
	電源On/Off	電源On/Off	電源On/Off
	VCRモード	-	-
	-	DVDモード	-
	-	-	Teletextモード (PAL 版のみ)
	インスタントレプレイ	メニュー	-
	再生	サブタイトル	-
	EPG (Electronic Program Guide)	オーディオ (Switch available audio)	-
	スナップショット	スナップショット	-
	マウス	マウス	-
	マウス 左ボタン	マウス 左ボタン	-
	システム設定	コンフィグ	-
	マウス 右ボタン	マウス 右ボタン	-
	巻き戻し	巻き戻し (1X / 2X / 3X / 4X / 8X / 16X / 32X)	-
	再生/一時停止	再生/一時停止 (1X)	-
	早送り	早送り (1X / 2X / 3X / 4X / 8X / 16X / 32X)	-

2. ハードウェア セットアップ

ボタン	モード1	モード2
	録画	リピート
	停止	停止
	ビデオソース 切り替え	イジェクト
	ボリューム (増/減)	ボリューム (増/減)
	ミュート	ミュート
	チャンネル (増/減)	チャプター (次/前)
	フルスクリーン	フルスクリーン
	TV壁紙	ブックマーク (Adds bookmarks for specific DVD scenes)
	SAP/ステレオ/モノラル	数値入力*
	1	1*
	2	上/2*
	3	3*
	4	左/4*
	5	Enter/5*

2. ハードウェア セットアップ

ボタン	モード 1	モード 2
	6	右/6*
	7	7*
	8	下/8*
	9	9*
	Return (以前のチャンネルに戻る)	Go Up. (DVDメニューでの操作)
	0	0*
	オートスキャン (有効なチャンネルのみ)	Go To. (Go to bookmark)

「*」印の機能は、数値入力モードに切り替えてファンクションキーを2度押すことによって入力可能です。

3. ソフトウェア セットアップ

デバイスドライバのインストール

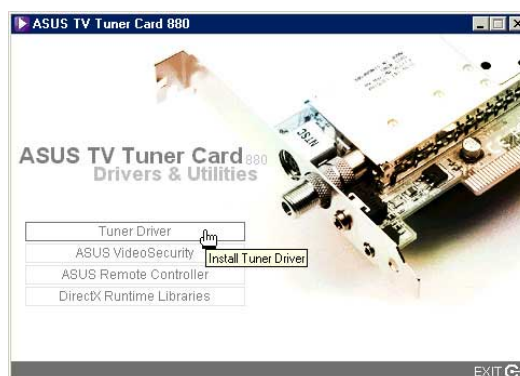
TV チューナーカードを使用するためにはドライバが必要です。お使いのOSに応じて以下の方法でインストール作業を行ってください。

注: 以下の画面写真は一例です。お使いのシステムによって異なる場合があります。サポートCDの内容は予告なしに変更される場合があります。

Windows 98 / ME

方法 1 : ASUS クイックセットアップ

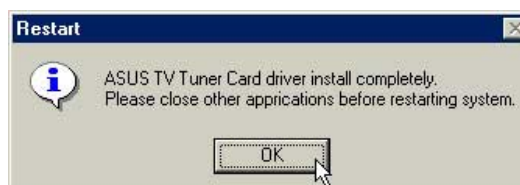
1. Windowsを起動します。
2. サポートCDをドライブにセットします。
3. 右の画面が起動しますので「Tuner Driver」をクリックします。



4. 画面の指示に従って続けます。



5. ドライバを有効にするために再起動が必要です。「OK」をクリックするとコンピュータを再起動します。



3. ソフトウェア セットアップ

方法 2: プラグアンドプレイ

1. Windowsを起動し、サポートCDをドライブにセットします。
2. Windows は ASUS TV チューナーカードを検出し、ハードウェアウィザード画面が起動します。ドライバが検出されるまでしばらくお待ちください。
3. 「製造元が提供するドライバを使用する」をクリックします。



4. 「特定の場所にあるすべてのドライバ・・・」をチェックして、サポートCDのドライブを指定します。「次へ」をクリックします。



5. ドライバが検出されたら「次へ」をクリックします。



3. ソフトウェア セットアップ

6. インストールが終了したら、「完了」をクリックします。



7. 2項から 6項を繰り返します。



8. 2項から 6項を繰り返します。



3. ソフトウェア セットアップ

Windows 2000 / XP

方法 1: ASUS クイックセットアップ

1. Windowsを起動します。
2. TV チューナーカードが自動検出され、ウィザード画面が開きます。



3. サポートCDをドライブにセットします。自動でインストール画面が起動しますので「Tuner Driver」をクリックします。



4. 画面の指示に従ってインストールします。「OK」をクリックします。



5. ドライバを有効にするために再起動が必要です。「OK」をクリックするとコンピュータを再起動します。



3. ソフトウェア セットアップ

Windows 2000 / XP

方法 2 : プラグアンドプレイ

1. Windowsを起動し、サポートCDをドライブにセットします。

2. Windows は ASUS TV チューナーカードを検出し、ハードウェアウィザード画面が起動します。



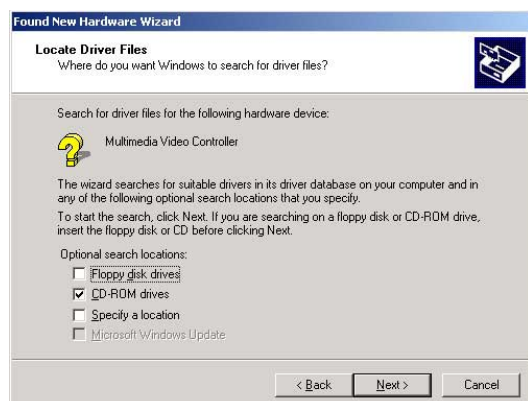
3. 「次へ」をクリックします。Windows が必要なドライバを検索します。



4. 「現在使用しているドライバよりさらに適した・・・」を選択し、「次へ」をクリックします。



5. 「CD-ROMドライブ」をチェックして「次へ」をクリックします。



3. ソフトウェア セットアップ

6. 検索が終了したら「次へ」をクリックします。



7. インストールが終了したら、「完了」をクリックします。



8. 2項から 7項を繰り返します。



9. 2項から 7項を繰り返します。



3. ソフトウェア セットアップ

ASUS リモコン ドライバ

方法：ASUS クイックセットアップ

1. Windowsを起動します。
2. サポートCDをドライブにセットします。右の画面が起動しますので「ASUS Remote Driver」をクリックします。



3. セットアップ画面が起動しますので「次へ」をクリックします。

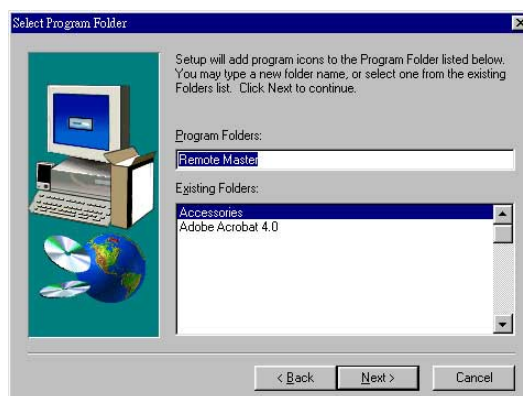


4. ドライバをインストールする場所を指定して「次へ」をクリックします。



3. ソフトウェア セットアップ

5. アイコンを追加する場所を指定して「次へ」をクリックします。



5. 必要なファイルがコピーされインストールが終了します。「Launch Remote Master now!」をチェックして「完了」をクリックします。



3. ソフトウェア セットアップ

DirectX のインストール

Microsoft DirectX は、Windows 98, Windows 2000 および Windows XPでサポートされている3Dハードウェアアクセラレーション機能です。Windows 98でソフトウェアMPEG再生を行うには、最初にMicrosoft DirectXをインストールし、次にMPEG準拠ビデオドライバをインストールしてください。

1. Windowsを起動し、サポートCDをドライブにセットします。右の画面が起動しますので「DirectX Runtime Libraries.」をクリックします。



2. 「DirectX(R) Setup」が起動しますので「Install」をクリックします。



3. 自動で DirectX 8.1 ランタイムがインストールされます。



4. 必要なファイルがコピーされインストールが終了します。「OK」をクリックします。



警告! 古いバージョンのDirectXに対応しているゲームの中には、DirectX8で動かないものがあります。インストールする前に、お使いのソフトウェアが DirectX 8 に対応しているかどうか確認してください。DirectX 8 は「ドライバのアンインストール」方法では、アンインストールできません。

3. ソフトウェア セットアップ

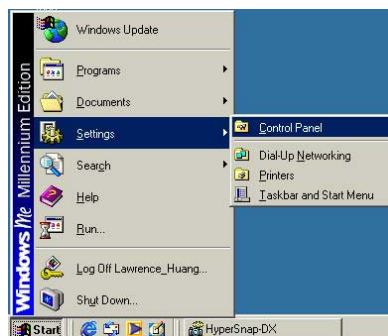
TV チューナーカードドライバのアンインストール

TV チューナーカードのドライバをアップデートする場合や、TV チューナーカードを使わなくなった場合は、以下の方法でドライバのアンインストール(削除)を行います。

Windows 98 / ME

方法: コントロールパネルを使う方法

1. スタートメニューの「設定」をクリックします。
2. コントロールパネルを起動します。

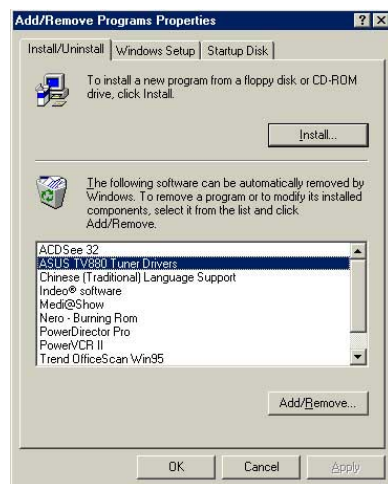


3. 「プログラムの追加と削除」をクリックします。

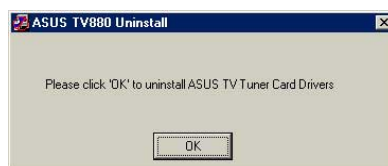


4. 「変更と削除」をクリックします。

5. 一覧から「ASUS TV Tuner Card Drivers」を選択し「追加/削除」をクリックします。



6. 「OK」をクリックするとドライバが削除されます。



7. 「OK」をクリックし、コンピュータを再起動します。

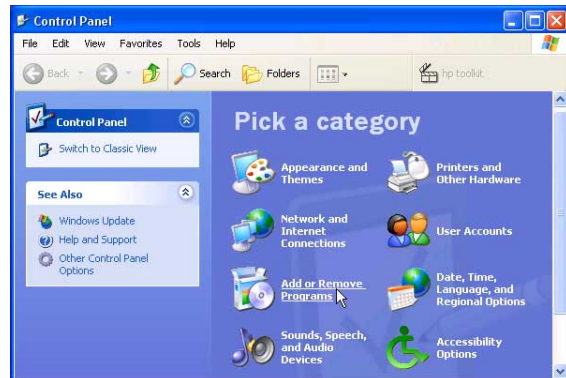


3. ソフトウェア セットアップ

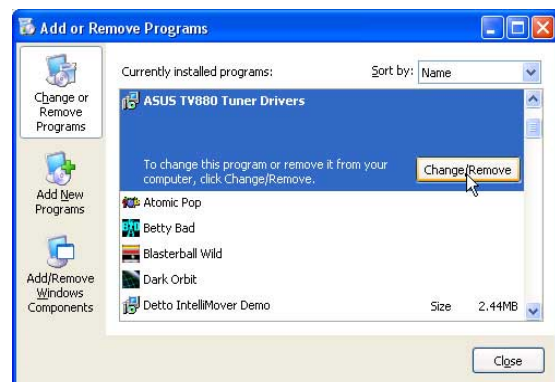
Windows 2000 / XP

方法: コントロールパネルを使う方法

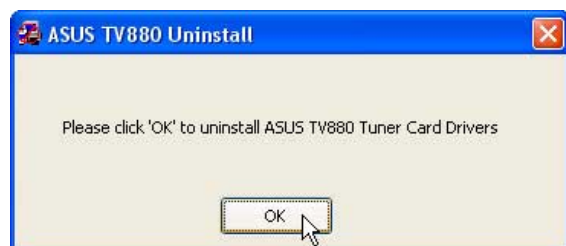
1. スタートメニューの「設定」をクリックします。
2. コントロールパネルを起動します。
3. 「プログラムの追加と削除」をクリックします。



4. 「変更と削除」をクリックします
5. 一覧から「ASUS TV Tuner Card Drivers」を選択します。
6. 「追加/削除」をクリックします。。



7. 「OK」をクリックするとドライバが削除されます。



3. ソフトウェア セットアップ

VideoSecurity (ビデオセキュリティ)

「VideoSecurity」は、ビデオ監視システムを簡単に構築できるユーティリティです。ビデオ入力画像に動く物体・人物があれば、これを自動で検出し、イベントログに記録します。また、検出結果を様々な方法でユーザーに通知します。

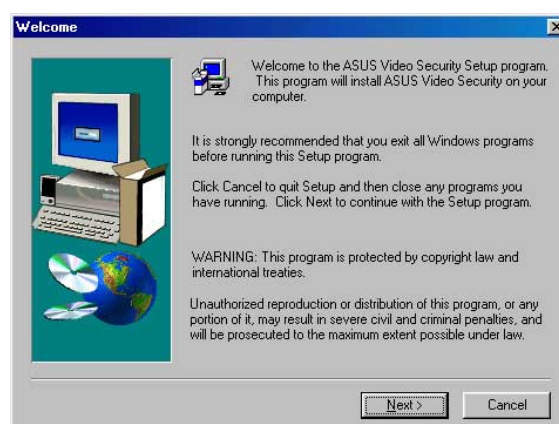
1. サポートCDをCD-ROMドライブにセットし、マイコンピュータのCD-ROMアイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が起動します。または、CD-ROMドライブの「Setup32.exe」をダブルクリックします。



2. 「ASUS VideoSecurity.」をクリックします。



3. インストール画面が表示されますので、「Next」をクリックします。



画面の指示に従ってインストールを行います。

3. ソフトウェア セットアップ

PowerVCR II

PowerVCR II は、ビデオ入力から取り込んだ画像を画面に表示したりキャプチャするユーティリティです。最新のMPEG II規格に準拠し、高画質なビデオ映像を表示・編集可能です。さらに、タイマー録画や「TimeShifting™」など高機能デジタルビデオデッキに匹敵する機能を持ちます。

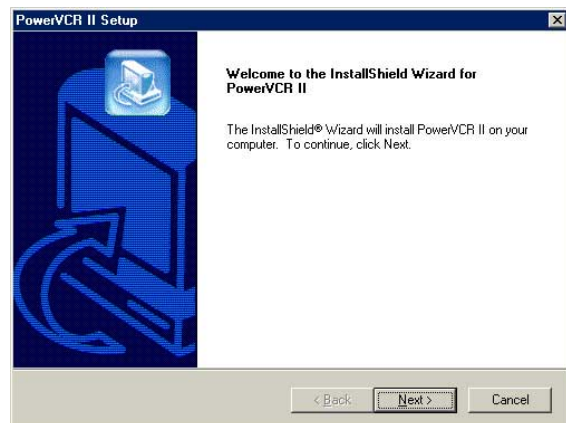
1. サポートCDをCD-ROMドライブにセットし、マイコンピュータのCD-ROMアイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が起動します。

使用する言語を選択して「Next」をクリックします。



2. 「PowerVCR II Setup」画面が起動しますので「Next」をクリックします。

画面の指示に従ってインストール作業を行います。



3. ソフトウェア セットアップ

PowerDirector Pro

PowerDirector は、誰もが簡単にオリジナルのムービーを作ることができるアプリケーションです。お使いの PC でプロ級のビデオ作成・編集機能を利用・体験できます。PowerDirector は、従来の AVI 形式のビデオ生データは用いず、MPEG および DV AVI フォーマットを直接編集することが可能になりました。これによりディスク容量を大幅に節減することが可能です。

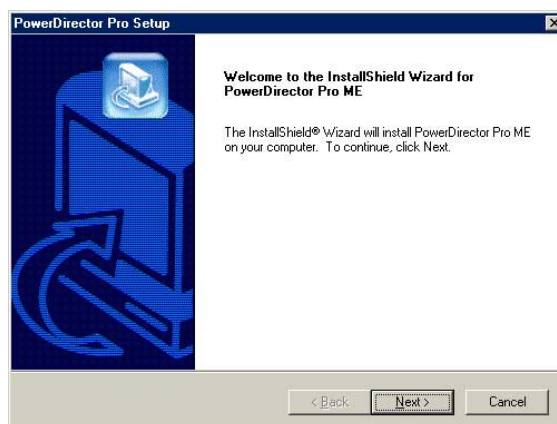
1. サポートCDをCD-ROMドライブにセットし、マイコンピュータのCD-ROMアイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が起動します。

使用する言語を選択して「Next」をクリックします。



2. 「PowerDirector Pro Setup」画面が起動しますので「Next」をクリックします。

画面の指示に従ってインストール作業を行います。



3. ソフトウェア セットアップ

Medi@Show

Medi@Show は、PC およびインターネット上でマルチメディアスライドショーを作成・出版することができる統合型マルチメディアツールです。オフィス用ソフトウェア(PowerPoint)、画像イメージ、オーディオおよびビデオクリップなどのファイルをPCに取り込み、タイトルやテロップ、シーン切り替え効果、フィルタ効果などを追加し、完成度の高いビデオクリップを作成できます。

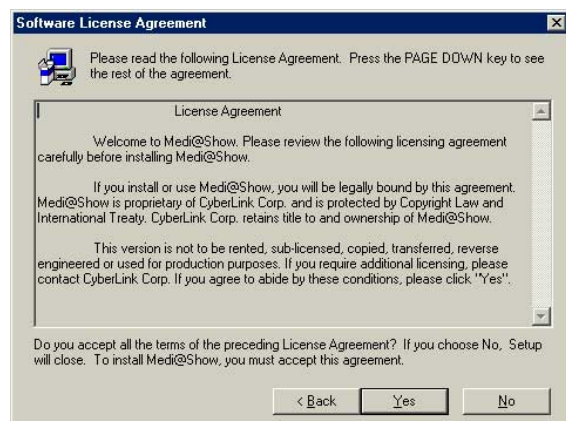
1. サポートCDをCD-ROMドライブにセットし、マイコンピュータのCD-ROMアイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が起動します。

ウェルカム画面が表示されたら「Next」をクリックします。



2. 「Software License Agreement」が表示されますので「YES」をクリックします。

画面の指示に従ってインストール作業を行います。



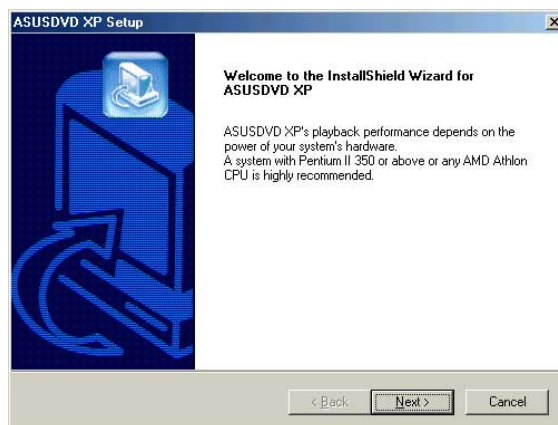
3. ソフトウェア セットアップ

ASUSDVD XP

ASUSDVD XP は、最新の DVD再生ソフトウェアです。DVDビデオをお使いの PCで見るすることができます。ASUSDVD XPは、世界標準であるマイクロソフト WHQL 認可を受けていますので、あらゆる DVD形式に対応できます。また、直感的な操作方法と様々な便利な機能により、誰もが簡単に PCで DVDを楽しむことができます。

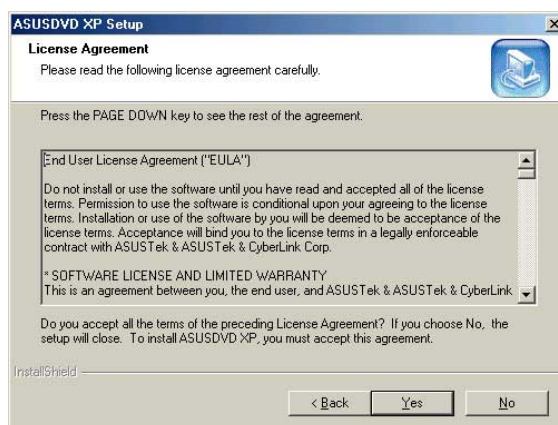
1. サポートCDをCD-ROMドライブにセットし、マイコンピュータのCD-ROMアイコンをダブルクリックすると、メニュー画面が起動します。

「ASUSDVD XP Setup」画面が表示されたら「Next」をクリックします。



2. 「License Agreement」画面が表示されますので「YES」をクリックします。

画面の指示に従ってインストール作業を行います。



4. ソフトウェア リファレンス

ASUS Remote Master

1. リモコンキットの使い方


Remote Master はリモコン用の制御ソフトウェアです。ドライバと一緒に組み込まれますので、コンピュータを起動すると同時に自動的に使用できるようになっています。手動で起動するには、スタートメニューの「プログラム」 - 「Remote Control Administrator」 - 「Remote Master」を選択します。

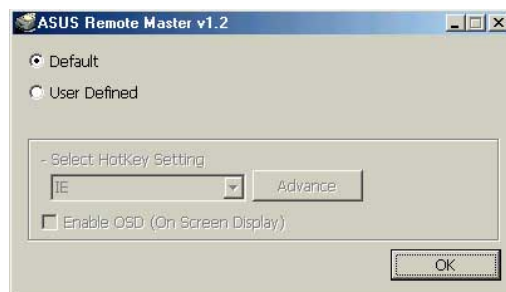
2. リモコンの使用上の注意

リモコンは送信部を受信機に向けて、適切な距離内で正しく使用するようにしてください。

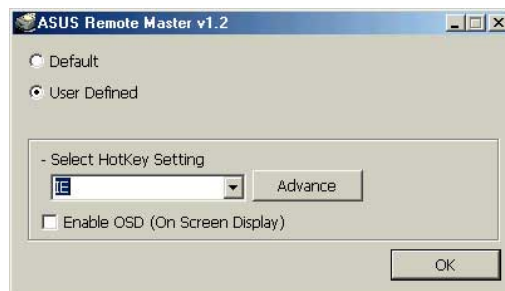
起動プログラムの設定 -- リモコンの初期設定では、DVDボタンをクリックすると「AsusDVDDXP」が、VCR ボタンをクリックすると「Power VCR II」が、それぞれ起動するようになっています。

3. Remote Master の使い方

Remote Master を起動するためにショートカットキーを定義することができます。また、タスクバーの  アイコンを右クリックしても Remote Master を起動できます。.



ホットキーを変更するには、「User Defined」 - 「Select HotKey Setting」を選択して「Advance」をクリックします。



設定を初期状態に戻すには「Default」をクリックします。

4. ソフトウェア リファレンス

4. 新規ソフトウェアへのホットキーの割り当て -- 新しいソフトウェアにホットキーを割り当てるには「Advance」ボタンをクリックし、次に「New」をクリックします。またはホットキーの1つを選択してそれを編集することもできます。新しいホットキーの設定を保存するには「Save As」をクリックします。ASUS リモコンの「Exit」ボタンはIE(エクスプローラ)のCtrl+W に相当します。(IE のホットキー設定でCtrl+W が Exit に設定されているためです。)以下の画面例は「Exit」機能(OSD, On Screen Display)が使用されていることを示しています。また、この OSD.を編集することも可能です。



5. マウスモードの使い方 -- 「Mouse」をクリックすると外部マウス機能を使用することができます。ASUS リモコンは、ワイヤレスマウスのように機能し、離れた位置からコンピュータの操作が可能です。

4. ソフトウェア リファレンス

PowerVCR II

注意

1. 以下は一般的な説明ですので、お使いのソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。本章の内容は予告なしに変更される場合があります。
2. MPEG-1 録画には、以下のシステムが必要です : Pentium II 350 または AMD K6 プロセッサ 450 MHz以上。
MPEG-2 録画には、以下のシステムが必要です : Pentium III 650 MHz または Athlon 650 MHz以上。

PowerVCR II の特徴:

1. TVチューナーカードで受信したTV番組をディスプレイに表示したり、ハードディスクに録画することができます。また、デジタル/アナログカメラ、ビデオデッキなど外部AV機器からの映像を表示・録画できます。
2. Time-shifting™ 機能によって時間差録画が可能です。
3. MPEG-1 および MPEG-2 に対応し、高画質な画像を楽しめます。
4. フレキシブルなタイマー予約録画が可能です。
5. ディスク容量に応じて、録画ファイルの大きさを制限できます。
6. 複数のチャンネルを同時プレビューすることが可能です。

注意: PowerVCR II を使用するには DirectX 8 以上が必要です。(3. ソフトウェア セットアップ | DirectXのインストール 参照)

4. ソフトウェア リファレンス

PowerVCR II の起動

スタートメニューから「プログラム」 - 「CyberLink PowerVCR II」 - 「PowerVCR II」を選択します。

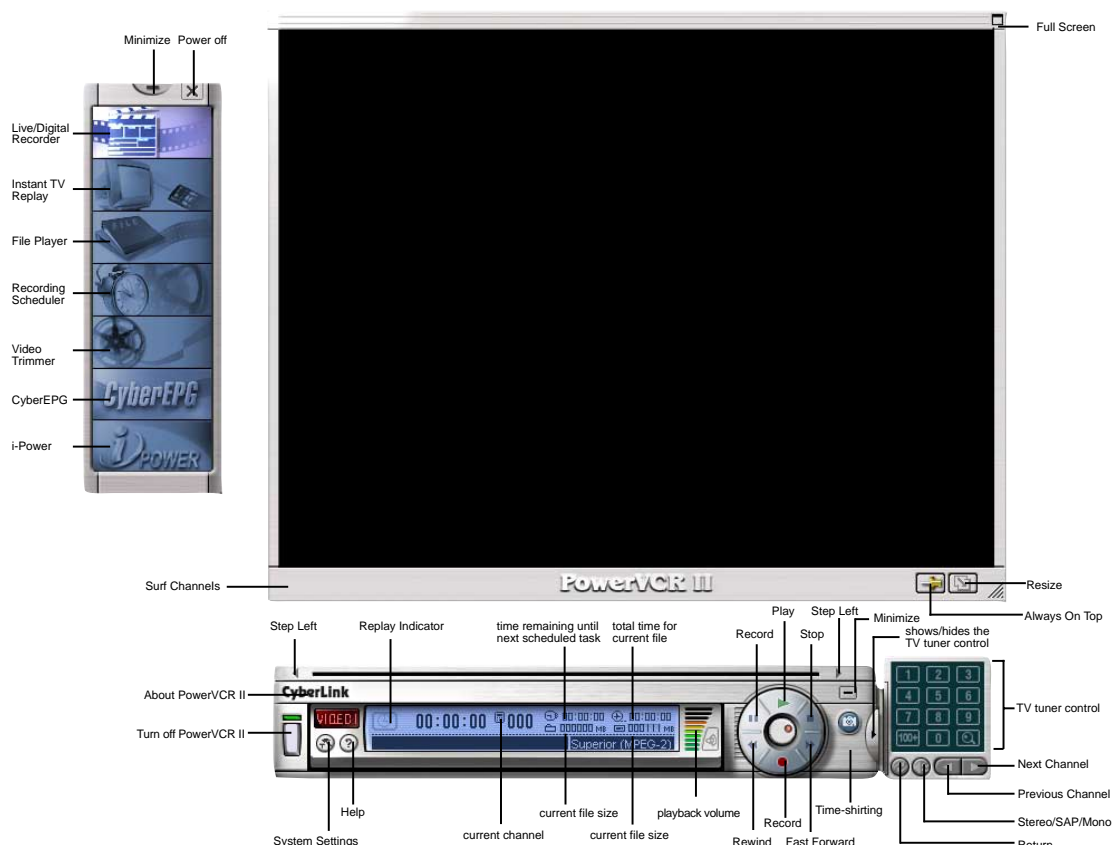
またはデスクトップの「PowerVCR II」アイコンをクリックします。

PowerVCR II のアンインストール

スタートメニューから「プログラム」-「CyberLink PowerVCR II」-「Uninstall PowerVCR II.」を選択します。またはコントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」からもアンインストールできます。

操作方法

PowerVCR II.はビデオデッキによく似たインターフェイス画面を持っています。実際のビデオデッキを操作するのと同じ感覚で、各ボタンをマウスでクリックすることによって簡単に操作できます。



4. ソフトウェア リファレンス

表示オプション

Enable full screen

「Full Screen」をクリックするとビデオ画像をフルスクリーン表示します。

Resize your video display

「Resize」ボタンをクリックするとビデオ画像を任意の大きさに変更できます。

Always on top

「Always on Top」ボタンをクリックするとビデオ画像を常に前面に表示します。

録画

チャンネルサーファ－

チャンネルサーファ－は複数のチャンネルを小さな画面に分割して同時に表示する機能です。最大16個のチャンネルをプレビューすることができます。

1. TVチューナーカードが正しく取り付けられているか確認します。
2. ビデオ画像ウィンドウにある「Surf Channels」ボタンをクリックします。



3. 「Auto Page」をクリックすると16個のプレビュー画面を順番に更新していきます。
4. 「Next」および「Previous」で特定のチャンネルに切り替えることができます。
5. 「Auto Scan」で有効な(放送されている)チャンネルをスキャンできます。
6. 「Cancel surfing」で特定チャンネルの表示をキャンセルし、通常の表示に戻ります。

4. ソフトウェア リファレンス

録画方法

1. TVチューナーカードが正しく取り付けられているか確認します。
2. PowerVCR II を起動します。インジケータに TV画像が映るまでソースインジケータをクリックします。

注: PowerVCR II は、TV放送の国と地域 および TV信号の種類をを自動判別します。詳しくは「システム設定の変更」を参照してください。

3. PowerVCR II パネルの右端にある矢印をクリックして、TVチューナーコントロールを有効にします。



4. 左右矢印または数値ボタンを用いて好みのチャンネルに変更します。
5. 「Return」をクリックすると最後に選択したチャンネルに戻ります。
6. 「Auto Scan」をクリックすると有効なチャンネルをスキャンします。「Cancel」をクリックすると「Auto Scan」をキャンセルして元のチャンネルに戻ります。

注: 再生音量とは異なり、録画時の音量は PowerVCR II によって自動調整され、ユーザーによる調整はできません。

注: TVチューナーコントロールは WDM対応のキャプチャデバイスでのみ可能です。

7. チャンネルを決めたら、「Record.」をクリックします。

ヒント: 録画中に録画ボタンを再度クリックするとタイマー録画メニューが表示されます。設定した時間だけ経過すると PowerVCR II は自動で録画を停止します。

8. 録画を終了するには「Stop」をクリックします。
9. プレイリストが表示されますので録画内容をファイルに保存します。

情報: Windows の制限により、2 GB以上のファイルは取り扱うことができません。この制限を越えた場合、PowerVCR IIはファイルを 600 MB ごとに分割して保存します。分割されたファイルはプレイリストには1つのファイルとして表示され、分割を意識することなく連続して再生することが可能です。

4. ソフトウェア リファレンス

10.すべてのファイルを削除するには「Delete.」をクリックします。

注: 「Delete.」をクリックするとプレイリストのファイルがすべて削除されます。

11.確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。

12.「Save to...」をクリックすると、フォルダとファイル名を指定して保存できます。

13.保存するフォルダとファイル名を指定して「Save 」をクリックします。

外部AV機器からの録画

TV映像だけでなく、以下の外部AV機器からの映像を録画することも可能です。お手持ちのビデオテープの内容を PCに保存し直すことが可能です。

- ・ PCカメラ
- ・ ビデオカメラ
- ・ ビデオデッキ
- ・ テレビ

これらの機器から録画を行うには、適切なドライバがインストールされている必要があります。詳しくは各機器のユーザーガイドをご覧ください。

1. PowerVCR II を起動します。
2. ソースインジケータで適切なビデオ入力を選択します。
3. 画面に何も映らない場合は「System Settings」をクリックしてビデオ入力の設定を行ってください。
4. 設定が正しく行われていれば、AV機器からの画像が画面の表示されます。

注: 画面に何も映らない場合はビデオ入力を確認してください。ケーブルが正しく接続されていないか、入力設定が正しく行われていない可能性があります。

5. 準備ができたなら「Record」をクリックします。

ヒント: 画中に録画ボタンを再度クリックするとタイマー録画メニューが表示されます。設定した時間だけ経過すると PowerVCR II は自動で録画を停止します。

6. 録画を終了するには「Stop」をクリックします。
7. プレイリストが表示されますので録画内容をファイルに保存します。

4. ソフトウェア リファレンス

情報: Windows の制限により、2 GB以上のファイルは取り扱うことができません。この制限を越えた場合、PowerVCR IIはファイルを 600 MB ごとに分割して保存します。分割されたファイルはプレイリストには1つのファイルとして表示され、分割を意識することなく連続して再生することが可能です。

8. すべてのファイルを削除するには「Delete.」をクリックします。
注: 「Delete.」をクリックするとプレイリストのファイルがすべて削除されます。
9. 確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。.
10. 「Save to...」をクリックすると、フォルダとファイル名を指定して保存できます。
11. 保存するフォルダとファイル名を指定して「Save 」をクリックします。

ヒント: ビデオ映像を画面一杯に表示するにはビデオ映像をクリックします。もう一度クリックすると元の大きさに戻ります。

インスタントTVリプレイ

TVを鑑賞中に今のシーンをもう一度見たいと思ったことはありませんか? PowerVCR II の新機能: インスタントTVリプレイを用いると簡単にシーンの再現ができます。ビデオデッキのように巻き戻しなどの面倒な操作は不要です。ボタンをクリックするだけで、いつでもリプレイ可能です。

注: リプレイファイルは HDDに一時ファイルとして保存されます。リプレイモードを終了させると、このファイルは自動で消去されます。

1. TV映像の表示中にマスターパネルにある「Instant TV」をクリックするとインスタントリプレイが始まります。詳しくは「システム設定の変更」をご覧ください。
2. 「Navigating in Replay Mode.」については次章を参照してください。

注: インスタントリプレイモードには停止機能はありません。

4. ソフトウェア リファレンス

CyberEPG プログラミング

インターネットには TV 番組表を提供するサービスがあります。PowerVCR II は、この番組表を利用して TV 番組の録画を自動で行うことができます。CyberEPG は、インターネットにある TV 番組表を直接読み取ってスケジュール化することができます。ユーザーが TV 番組を調べたり、日付や時刻を入力する手間が全くなくなる画期的なユーティリティです。

CyberEPG は、PowerVCR II 用に提供された CyberLink 社のインターネットサービスを利用します。マウスクリック 1 つで簡単に TV 番組のスケジュールを設定することができます。

国や地域、TV 映像の規格により、以下の CyberEPG スケジュール追加手順は異なる場合があります。

1. PowerVCR II. を起動し、「i-Power.」をクリックします。

注: お使いの PC が予めインターネットに接続されている必要があります。

2. 「CyberEPG」へのリンクをクリックします。
3. お住まいの国と地域をクリックします。
4. 該当する国のページにジャンプします。メニューから地域を選択してクリックします。
5. 該当する地域のページにジャンプします。ケーブル TV のプロバイダを選択してクリックします。
6. 番組表が表示されます。メニューからご希望の日付や時刻を選択します。
7. 番組のジャンルを選択します。(例: アクション, コメディ, スポーツなど)
8. オレンジ色の矢印をクリックすると時刻を変更することができます。
9. 左側のチャンネルをクリックすると、その日 1 日にそのチャンネルで放送されるすべての番組を表示することができます。
10. ご希望の番組が見つかったら、それをクリックします。
11. 番組の情報が表示されます。「Add to EPG」アイコンをクリックすると PowerVCR II. にスケジュールが追加されます。
12. PowerVCR II の CyberEPG スケジュールプログラムが表示されます。内容を確認して「Next.」をクリックします。
13. 最後に「Finish.」をクリックします。これで、スケジュールが PowerVCR II. に登録されました。

4. ソフトウェア リファレンス

PowerDirector Pro

はじめに

PowerDirector は、誰もが簡単にオリジナルのムービーを作ることができるアプリケーションです。お使いの PC でプロ級のビデオ作成・編集機能を利用・体験できます。パーソナルコンピュータとビデオキャプチャカード、そして、PowerDirector があれば、簡単にムービーを作成可能です。

従来、PC でビデオ編集を行うことは技術的には可能でしたが、誰もが気軽に手を出せるものではありませんでした。なぜならば、ビデオ編集には、高速かつ強力な CPU パワーと膨大な容量のハードディスクが必要で、ビデオ編集ソフトウェア自身を実行するのにもハイスペックな最新鋭の PC が必要だったからです。とくにキャプチャしたビデオの生データはサイズが大きくなりがちで、ハードディスクの容量制限から、一般の PC で生データを取り扱うのは困難でした。このため、PC でのビデオ編集は一般的には普及しませんでした。

しかし、PowerDirector の Smart Video Rendering Technology (SVRT) は、この問題を一気に解決しました。従来の AVI 形式のビデオ生データは用いず、MPEG および DV AVI フォーマットを直接編集することが可能になりました。これによりディスク容量を大幅に節減することが可能です。MPEG や DV AVI フォーマットは、特別な圧縮・伸長プログラムを必要としません。また、圧縮・伸長にかかる時間もわずかで、ユーザーはストレスなしにビデオ編集作業を行うことができます。

4. ソフトウェア リファレンス

SVRT には以下のような豊富な機能があり、魅力的かつ驚異的なビデオムービーを作成することができます。

主な機能

- ・ シーンの自動検出
- ・ DV機器からリアルタイム、または非リアルタイムに録画可能
- ・ ディスクウィザードで映像ディスクを作成可能
- ・ クリップにタイトルを追加可能
- ・ クリップにオーディオストリームを追加可能
- ・ ピクチャー イン ピクチャ機能 (既存のビデオクリップにビデオまたはイメージ画像を追加可能)
- ・ 豊富なシーン切り替えエフェクト、マスクエフェクト、タイトルコレクション
- ・ マスターオーディオファイル
- ・ ウォーターマーク
- ...など



4. ソフトウェア リファレンス

Medi@Show

Medi@Show は、PC およびインターネット上でマルチメディアスライドショーを作成・出版することができる統合型マルチメディアツールです。お使いの PC で気軽にマルチメディアの編集ができ、誰もがクリエイターになることができます。

Medi@Show は、多目的・マルチタスク・マルチプロデュースアプリケーションです。Medi@Show はマルチメディアファイルのコンパイル・アレンジ・作成を簡単な操作で同時に行うことができます。

オフィス用ソフトウェア・画像イメージ・オーディオおよびビデオクリップなどのファイルを TWAIN 経由・ローカルマシンのフォルダ・インターネットから取り込むことができます。これらのファイルを組み合わせて編集を行い、さらに、タイトルやテロップ、シーン切り替え効果、フィルタ効果、オーディオクリップ、マスク効果などを追加し、完成度の高いビデオクリップを作成できます。

Medi@Show はこれらの機能を 1 つに統合したマルチメディアアプリケーションの決定版です。

主な特徴

- ・ あらゆる種類のマルチメディアファイルを取り扱い可能です。
- ・ TWAIN 対応のスキャナやデジタルカメラなどから画像を直接取り込むことができます。
- ・ 100 以上のテロップおよびタイトルなどの 2D/3D テキストコレクション、マスク効果、オーディオクリップが用意されています。
- ・ 以下のファイルが作成可能です:
 - ・ 実行ファイル
 - ・ スクリーンセーバー
 - ・ インターネット HTML & DHTML ファイル
 - ・ インターネットストリーミング スライドショー
 - ・ スタンドアロン再生実行ファイル
 - ・ FLZ : Medi@Show 用実行可能データファイル
- ・ i-Power によりブラウザを機能拡張し、ビデオ・オーディオ・画像へのリンクを無制限に追加できます。
- ・ ブラウザでファイルのドラッグ&ドロップ操作が可能です。

4. ソフトウェア リファレンス

- ・ 2つのオーディオトラックを同時再生可能です。
- ・ PowerPoint のファイルを直接読み込むことができ、実行および編集が可能です。



4. ソフトウェア リファレンス



ASUS ビデオセキュリティ

ASUSビデオセキュリティは、ビデオ入力を利用して監視カメラの役割を行うユーティリティです。ビデオ入力画像の中の動く物体(人物)を検出することができます。CCDカメラなどを接続すれば簡単に侵入者監視システムを構築できます。検出結果は画像データとしてログに記録され、あらかじめ設定した方法でユーザーに通知することができます。

- ・ 検出した結果はキャプチャされ画像データとして最新の2個までを保存します。この画像ファイルはBMP形式ですので、任意の画像ソフトウェアで表示・編集できます。

制限事項

ハードウェアの制約から、ビデオセキュリティは画像中の動く物体を常に正確に検出できるとは限りません。以下の制限事項をよく理解された上で効果的にご利用ください。

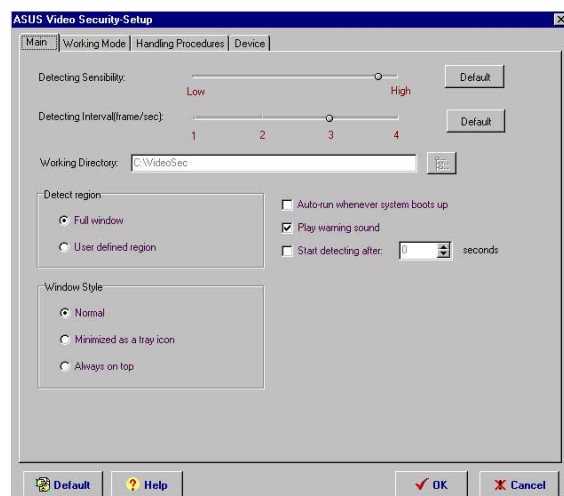
- ・ 温度変化によってCCDカメラの画像が歪む場合があります。ビデオセキュリティは、これも動く物体として検出してしまいます。
- ・ 検出したい物体や人物が背景と同じような色や明るさの場合、検出できない場合があります。
- ・ CCDカメラの時間的応答性には限界がありますので、物体の素早い動きには対応できません。

ビデオセキュリティを正確に動作させるためには、いくつかの設定が必要です。以下のセットアップウィザードを使って、お使いの環境にあわせて設定を行ってください。

セットアップウィザード

ビデオセキュリティを最初に起動した場合、セットアップウィザードが開始されます。

- 1.Windowsの「スタート」-「プログラム」-「ASUS Video Security」-「ASUS Video Security」-「Setup Wizard」を選択するとセットアップウィザードが起動します。



4. ソフトウェア リファレンス

注意: 以下はビデオセキュリティの一部の機能について解説しています。ビデオセキュリティのすべての機能、および各機能の詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。ヘルプは、メインコントロールウィンドウの「?」をクリックすると表示されます。

Detecting Sensibility (感度)

検出の感度の調整です。監視対象となる画像の変化具合に応じて適切な値に設定します。監視対象画像の小さな動きは無視して大きな動きだけ検出したい場合は、Low側に設定します。

Detecting Interval(frame/sec) (インターバル)

検出のインターバルを設定します。デフォルトでは、1秒間に2フレームです。フレーム数を多くすると検出感度は高くなりますが、CPUの負荷が大きくなります。監視中に他のアプリケーションを同時に実行した場合には、あまり大きな値に設定しないでください。

Working Directory (作業用ディレクトリ)

ビデオセキュリティの作業用ファイルやイベントログを保存するディレクトリです。デフォルトは、C:\¥VIDEOSEC ですが変更することもできます。ビデオセキュリティは、このディレクトリの下に自動でサブディレクトリを作成します。サブディレクトリ名には日付が使用され、例えば「1999.11.30_12.30.20」という名前のディレクトリは、1999年11月30日の12時30分20秒に作られたものです。

ビデオセキュリティ実行中に作業用ディレクトリの名前を変更しないでください。エラーになります。

Detect Region (検出エリアの設定)

- ・ Full window ビデオ画面のすべてのエリアを検出対象に指定します。
 - ・ User define region ユーザーが指定したエリア内のみを検出対象とします。
- この設定は、次の起動時から有効になります。

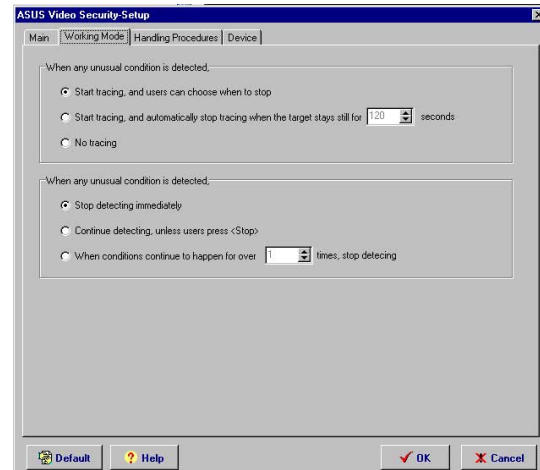
Window Style (表示スタイル)

- ・ Normal Window デフォルトの設定です。ビデオセキュリティは通常のウィンドウで表示されます。
- ・ Minimized as a tray icon ビデオセキュリティのウィンドウを隠し、タスクバーに入れます。これは、他の人に監視していることを知られないようにするのに有効な手段です。ビデオセキュリティが異常を検出した場合には、通常が表示になります。また、タスクバーのアイコンをクリックすると通常表示に戻ります。
- ・ Always on Top Normal Windowと同様ですが、メインウィンドウとコントロールパネルが常に手前に表示されます。メインウィンドウを右クリックすると前面表示を解除できます。

4. ソフトウェア リファレンス

Working Mode

ビデオセキュリティは動く物体を検出する機能に加え、検出した対象を追跡してモニターする機能も持っています。

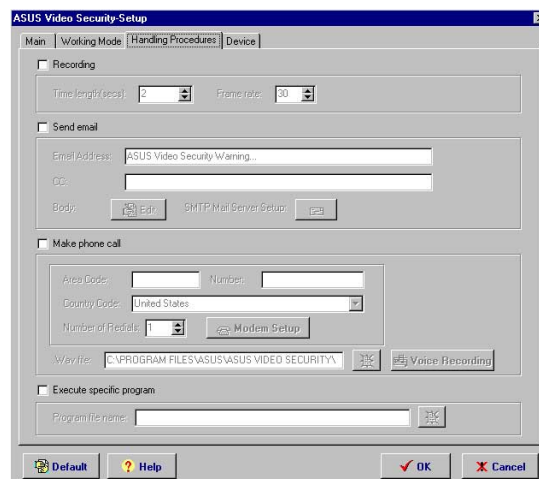


異常が検出された場合、このウィンドウが表示されます。対応する処置を選択してください。



Handling Procedure

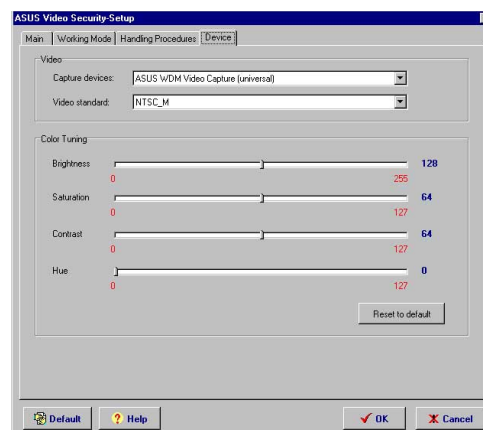
「Handling Procedure」タブをクリックすると異常を検出した時の処置を設定できます。保存、メールを送る、電話をかける、特定のプログラムを実行するなどの方法があります。ビデオセキュリティは、異常を検出した場合、設定された処置を自動で実行します。



Devices (デバイス)

ビデオ映像をキャプチャする機器を選択します。

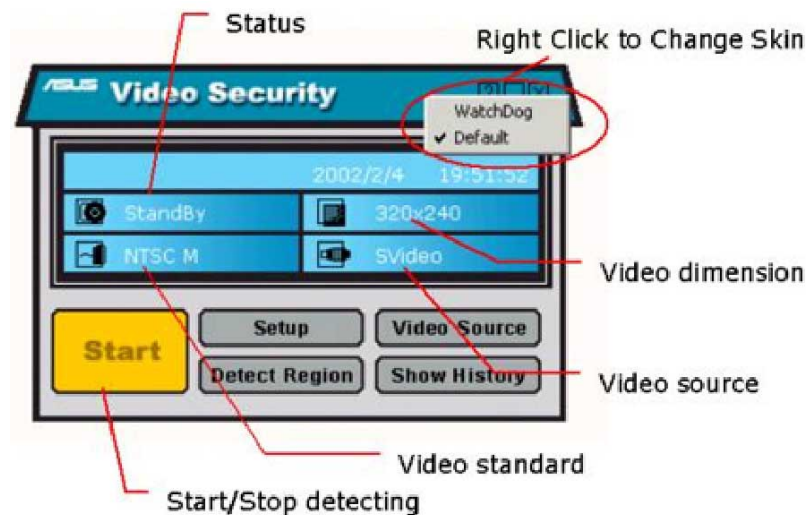
「Video Security」で詳細な調整を行って「OK」をクリックします。



4. ソフトウェア リファレンス

ASUS ビデオセキュリティの使い方

タスクバーの ASUS アイコンをクリックすると「ASUS Control Panel」が開きますので「VideoSecurity.」をクリックするとビデオセキュリティが起動します。



Detect Region (検出範囲)

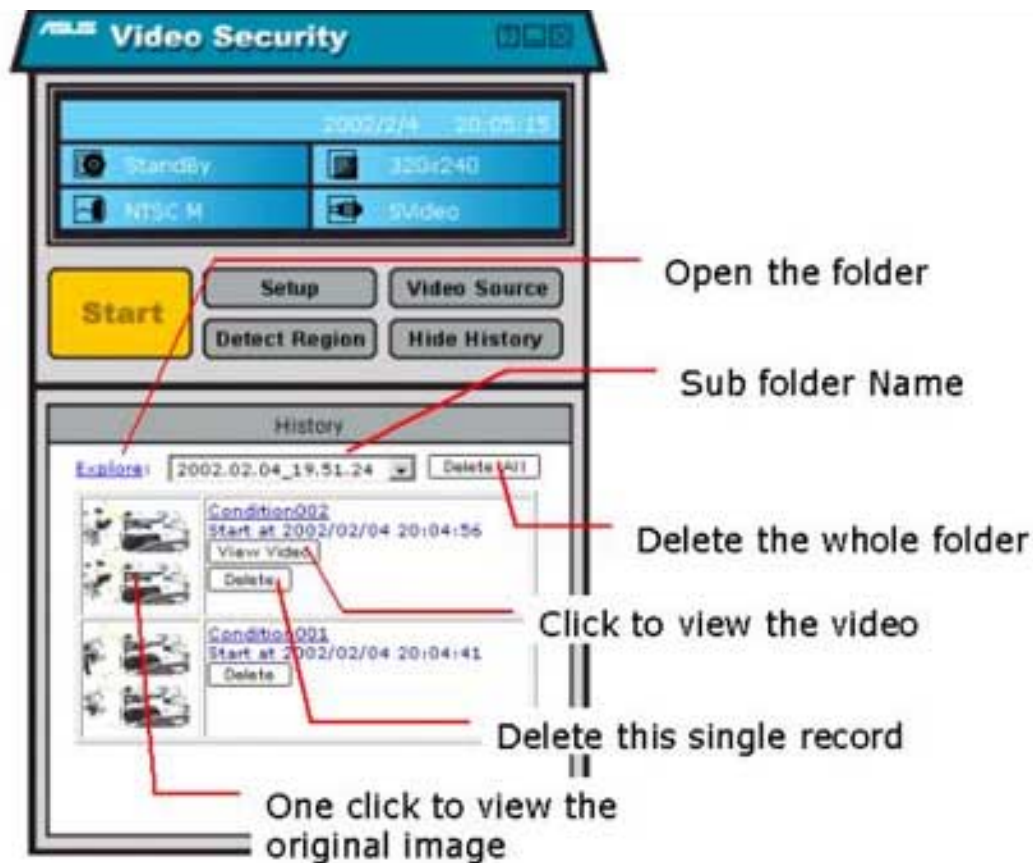
「Detect Region」をクリックして、VideoSecurity画面をマウスでドラッグすることによって検出範囲を設定できます。



4. ソフトウェア リファレンス

Show History (履歴)

「History」をクリックすると検出・記録された異常状態を日付・時刻などの情報付きで見ることができます。



5. キャプチャ解像度表

キャプチャ解像度表

ビデオ規格	サポートされている解像度
NTSC	720X480, 720X288, 720X240, 640X480 640X288, 640X240, 352X288, 352X240 320X240, 240X180, 240X176, 176X144 160X120, 128X 96, 88X 72, 80X 60
PAL/SECAM	720X576, 720X480, 720X288, 720X240 704X576, 640X480, 640X288, 640X240 352X288, 352X240, 320X240, 240X180 240X176, 128X 96, 88X 72, 80X 60

各国の TV 規格表

重要! 規格は変更・追加される場合があります。以下の表は参照用です。
TVチューナーカードはお使いになる国と地域に適したものを買い取ってください。
NTSC規格の国の場合はNTSCモデルをお買い求めください。

国と地域	TV	カラー	ステレオ	サブタイトル
アルバニア	B/G	PAL		
アルゼンチン	N	PAL-N		
オーストラリア	B/G	PAL	FM-FM	Teletext
オーストリア	B/G	PAL	FM-FM	Teletext
アゾレス諸島(ポルトガル)	B	PAL		
バハマ	M	NTSC		
バーレーン	B	PAL		
Barbados	N	NTSC		
ベルギー	B/G	PAL	Nicam	Teletext
バミューダ	M	NTSC		
ブラジル	M	PAL-M	MTS	
ブルガリア	D	SECAM		
カナダ	M	NTSC	MTS	C C
カナリア諸島	B	PAL		
中国	D	PAL		
コロンビア	N	NTSC		
キプロス	B	PAL		
チェコ	D/K	SECAM/PAL		
デンマーク	B	PAL	Nicam	TeleText
エジプト	B	SECAM		
フォロー諸島(DK)	B	PAL		
フィンランド	B/G	PAL	Nicam	TeleText
フランス	E/L	SECAM		Antiope
ガンビア	I	PAL		
ドイツ	B/G	PAL	FM-FM	TeleText
ドイツ(旧東独)	B/G	SECAM/PAL		
ジブラルタル	B	PAL		
ギリシャ	B/H	SECAM		
香港	I	PAL	Nicam	

5. キャプチャ解像度表

国と地域	TV	カラー	ステレオ	サブタイトル
ハンガリー	B/G & D/K	PAL (旧SECAM)	Nicam (Budapest only)	
アイスランド	B	PAL		
インド	B	PAL		
インドネシア	B	PAL		
イラン	H	SECAM		
アイルランド	I	PAL	Nicam	TeleText
イスラエル	B/G	PAL	Nicam	TeleText
イタリア	B/G	PAL	FM/FM	TeleText
ジャマイカ	M	SECAM		
日本	M	NTSC	Matrix	
ヨルダン	B	PAL		
ケニア	B	PAL		
韓国	M	NTSC		
ルクセンブルグ	B/G	PAL	-	TeleText
Madeira	B	PAL		
マダガスカル	B	SECAM		
マレーシア	B	PAL		
マルタ	B/G	PAL		
モーリシャス	B	SECAM		
メキシコ	M	NTSC	MTS	C C
モナコ	L/G	SECAM/PAL		
モロッコ	B	SECAM		
オランダ	B/G	PAL	FM-FM	TeleText
ニュージーランド	B/G	PAL	Nicam	TeleText
北朝鮮	D/K?	SECAM		
ノルウェイ	B/G	PAL	Nicam	
パキスタン	B	PAL		
パラグアイ	N	PAL		
ペルー	M	NTSC		
フィリピン	M	NTSC		
ポーランド	D/K	PAL		Teletext
ポルトガル	B/G	PAL	Nicam	Teletext
ルーマニア	G	PAL		
ロシア	D/K	SECAM		
サウジアラビア	B	SECAM		
セイシェル	I	PAL		
シンガポール	B	PAL		
南アフリカ	I	PAL		
南韓国	N	NTSC		
スペイン	B/G	PAL	Nicam	
スリランカ	B/G	PAL		
スウェーデン	B/G	PAL	Nicam	Teletext
スイス	B/G	PAL	FM-FM	TeleText
タヒチ	KI	SECAM		
台湾	M	NTSC		
タイ	B	PAL		
トリニダード	M	NTSC		
チュニジア	B	SECAM		
トルコ	B	PAL	-	TeleText

6. トラブルシューティング

問題点

解決方法

高解像度・高リフレッシュレートに設定できない。

DirectX や他のアプリケーションでAGPメモリが有効にならない。

MPEGビデオ再生時の画質が悪い。

ビデオセキュリティを使用するとハードディスクの空き容量がほとんどなくなる。

お使いの Windows98 に USB ヒューマンインターフェイスデバイス(HID)ドライバがインストールされていません。

・ 解像度は、お使いのディスプレイの特性に依存します。ディスプレイの最大解像度・リフレッシュレートを確認してください。

・ Windows95OSR2.1以降をお使いください。
・ DirectX 6.0以降をお使いください。
・ チップセットに対応した正しいドライバ(VGARTD.VXD)をインストールしてください。
・ マザーボードのBIOS設定で「AGP aperture size」を64MB 以上に設定してください。

・ ハードウェアアクセラレーション(DirectDraw)機能を用いるためには、DirectX 8以降が必要です。
・ 低い解像度、色数、リフレッシュレートに設定変更してみてください。お使いのソフトウェアの設定でハードディスクアクセラレーションを有効にしてください。
・ DualViewモードの場合は、VGAまたはTVモードのどちらかに変更してください。

・ ビデオセキュリティを「never stop」モードで使用する場合には注意が必要です。一時ファイルに大きな容量を必要としますので、ハードディスクに十分な空き容量が必要です。十分な空き容量がない場合、警告が表示されます。

・ Windows98 セットアップCD から、HIDドライバをインストールしてください。

[illegible]